

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム ひなたの家作成日: 令和 4 年 12 月 28 日

## 目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		人材の確保と育成	離職は少なく、職員は定着しているが、長く勤める職員が多い中で職員の高齢化も進んでいる。5年先、10年先を視野に入れた若手職員の確保に力を入れていく。	職員からの紹介制度の導入、実習やボランティアの積極的な受け入れ(コロナ収束後)、各種養成校への訪問等を通してホームの良さを伝え、アナウンスを継続していくことで人材の確保に繋げていく。	12ヶ月
2	4	運営推進会議を活かした取り組み	現在、書面開催で行っているが、コロナ収束後の対面での開催に備えて、各委員との関係を継続していく。また、委員の増員を目指していく。	地域包括にお願いして成年後見制度について話してもらったり、看護師からは感染予防、出入りの歯科衛生士からは口腔ケアについて話してもらう等して会議の中で学ぶ機会を設けたり、地域の困りごとについて話し合う等、地域貢献に繋がる会議を目指し、コミュニケーションを密に取りながら取り組んでいく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。